

鳥取県北栄町・滋賀県湖南市友好交流協定 10 周年記念式典

本日は、コロナ禍でまた 3 月議会前の大変お忙しいところ、オンラインシステムによるリモート開催ということで、湖南市会場には生田市長さん、松浦教育長さん、菅沼議長さん、上野副議長さん、そして本町では津川議長さん、斎尾副議長さんにご出席いただき、北栄町と湖南市の友好交流 10 周年の記念式典を開催できましたこと大変うれしく思います。

また、日頃より、産業界など多くの団体からこの交流に対し、ご理解とご協力を賜っておりますこと感謝申し上げたいと思います。

この交流は「コナンつながり」ということから始まり、平成 23 年 7 月には「住民福祉の向上とお互いの発展を目指し」友好交流協定を締結いたしました。

これまでに産業、教育、福祉、観光などあらゆる面で交流を行ってまいりました。すいか・ながいも健康マラソンには、毎年、参加をいただいております。大人だけではなく、子どもたちの交流もございます。北栄町からも、障がい者雇用や発達支援システムなど先進的な取り組みの視察や湖南市夏まつりなどに参加させていただいております。また、職員の人事交流では、計 9 年で 4 人ずつの職員交流がありました。湖南市の福祉面、北栄町の農業面など、お互いの強みのところを研修することができたと思います。

この間、特に印象深いことは、平成 28 年 10 月に発生した鳥取県中部地震の際、いち早く、復興支援として、職員さんの派遣をいただき助けていただいたことであり、あらためて、感謝申し上げたいと思います。

また、特に私が、職員時代を含めこの交流を通して、強く感じていたことは、湖南市さんのどの団体も丁寧な対応をしていただいたことであり、いつも楽しく交流をさせていただいたことであります。

交流のきっかけとなりました、コナン関係では、老朽化や施設内の狭さ、貴重品の収蔵や保存などいろいろな課題や問題が生じてきた青山剛昌ふるさと館の再整備に関して、現在、新築移転を含めた基本構想の策定に取り掛かっているところであります。住民の皆様や関係者等と議論を重ね取り組んでまいりたいと考えております。

新型コロナウイルス感染、未だ、収束がみえません。

しかしながら、これまで培ってきた、お互いの交流を途切れさすことなく、このような形での式典を含め、新しい交流の仕方などを模索しながら、友好を深めてまいりたいと考えております。

結びに、湖南市、北栄町のますますの発展、そして友好関係が末永く続くことを祈念し、あいさつとさせていただきます。

令和 4 年 2 月 10 日
北栄町長 手嶋俊樹